

としょかんだより



令和4年6月号
仁田佐古小学校図書館



6月に入り、雨の季節がやってきました。みなさんは、雨の日、なにをしてすごしますか。

仁田佐古小学校図書館では、室内あそびの本や食べ物の本を紹介しています。

また、6月は図書委員会のみんなが読み語りや、辞書引き大会、図書館クイズをします。みんなで雨の日を楽しみましょう！

参加した1年生には、3さつかしだしけん、2年生以上は4さつ貸出しけんを、
また貸出し予約券やしおりのプレゼントなどもありますよ。

みんな、きてね。



1・2年生



おはなしのよみかた!

おおきなえほんをよみます!
クイズもありますよ!

3・4年生

辞書引き大会!

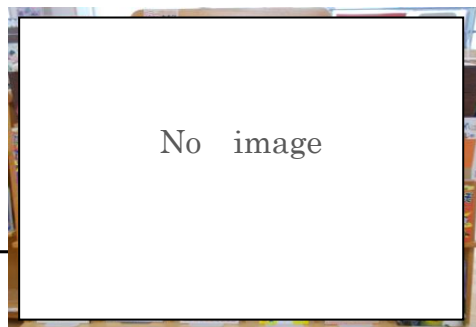
辞書引きにちょうせんします。
しおりのプレゼントがあります!

5・6年生

図書館クイズ!

問題の答えを本の中から探します。
たくさん、本を読んで、答えを
みつけてくださいね! 全問正解すると
予約券がもらえます。

あめ ひ 雨の日でもできる、あそびの本を紹介しています。





つながっている、いのちのルー



460の本だなに
あります！



『いのちはめぐる』 嶋田泰子：文 童心社

アゲハが、カマキリにおそわれた。そのカマキリを、ヒキガエルが、ぱくりとたべた。こんどは、そのヒキガエルを、カラスがねらっている。そんなカラスも、オオタカにはかなわない。つよいオオタカも、やがてしんで、ちいさないきものたちのごちそうになる。ちいさなむしから、おおきないきものまで、「いただきます」、「ごちそうさま」がくりかえされる。それはうみのなかでもおなじこと。めぐるいのちのリレーのなかに、わたしたちもいることをしていますか？



『アハメドくんのいのちのリレー』 鎌田實：著 集英社

難民キャンプで育ったパレスチナ人のアハメド君は、きれいな黒い瞳のやさしい少年です。アハメド君が9歳のとき、難民キャンプにイスラエル軍がせめて来て、たくさんの方が亡くなりました。「パレスチナ人もイスラエル人も、どうして仲良くできないのだろう」、アハメド君は、このままでは誰も幸せになれないと考えました。

ある日、アハメド君は、パーティにでかける途中で、イスラエル兵に銃でうたれました。そして、イスラエルの病院で治療をしましたが、アハメド君の脳は死んでしまいました。

病院の先生は、アハメド君のお父さんに「あなたの息子さんのいのちを、救うことはできない。けれど息子さんの臓器でたくさんの病気の子どもたちを救うことができる。ただし、パレスチナ人かもしれないし、イスラエル人かもしれない。」と話しました。

アハメド君のお父さんは、その後どうしたと思いますか？
みんなに知っておいてほしいお話です。読んでみてください。

本当にあったお話
です。30の本だなに
あります！

